

令和6年4月15日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科長
〔公印省略〕

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

1. 職名・募集人員

助教1名

2. 勤務形態

常勤（任期なし）

3. 所属

資源循環学専攻・国際・地域資源学講座・循環経営社会学教育研究分野

4. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

資源循環学専攻では、持続的な社会の基盤としての生物資源を環境に配慮した方法で循環的に利用するための、技術の開発や新しい社会のデザインをすることができる人材を育成することにより、調和のとれた循環型社会の構築に貢献することを目指しています。このため、生物の生命の仕組み、それらの生物を取り巻く環境、生物多様性についての学問を通して生物資源の持続的利用に関する教育・研究を行っています。国際・地域資源学講座では、地域社会が直面している現実や取り組むべき問題と正面から向き合えるように、社会科学と自然科学の両分野から積極的な課題教育を導入しています。これにより、私たち人類の生命基盤である農林水産業の実態や可能性について統合的に思考する能力と、国際社会において地域の自立・発展を目指す視座、およびグローバル社会におけるコミュニケーション力の修得を通して、国際社会における地域の課題に取り組み地域を発展させることのできる地域リーダーとなる人材の育成を目指しています。

今回公募する循環経営社会学教育研究分野では、農業経営学、地域社会学の視点から、食料問題・農業問題・環境問題を考察し、農村人口の減少の原理解明、農村型バイオマス資源利用方策の解明、構造変動下における農業法人の特徴と企業的農業の展開の可能性解明などの課題に取り組んできました。近年では、地域における賃金水準分析に立脚した目標農業所得の設定、それを可能とする農業経営計画と農業協同組合の支援策、IoT技術とデータサイエンスを応用した生産管理法の解明に取り組んでいます。

生物資源学研究科では、生物資源の生産と利用、その生産を支える環境の維持に貢献することを目的に共創の場形成支援プログラム「紀南オープンフィールド構想による緑のアントレプレナー共創拠点」へ研究科挙げて取り組む体制を構築しようとしています。

このプログラムで重要な位置を占めるのが紀南地域の主産業である農林業分野を研究対象とする経営社会学と資源経済学ですが、それらに加えて意志決定のためのマーケティングリサーチやアントレプレナーシップに関わる学問領域も求められ、それは地域（もしくはコミュニティ）の発展戦略を明らかにする開発経済学にも通じています。そこで、この分野の人材を新規に採用し、研究科のエビデンスに基づいた政策提言能力や問題解決能力の向上、人材育成・教育研究能力の向上を推進したいと考えています。さらに地域社会への働きかけに積極的な若手人材により、今後も長く、その役割を三重大学が担い続けることを目指します。当初は循環経営社会学教育研究分野にて教授の支援を受けながら大学教員としての能力を涵養しつつ、将来的には生物資源経済学教育研究分野の運営を担う人材を求めます。

5. 担当予定授業科目

(学部) 食糧・資源経済学, 農業経済・統計学, 農業・応用経済学, 農学演習 I, 卒業研究 など

(大学院博士前期課程) 農業・応用経済学特論, 農業・応用経済学演習, 特別研究 など

(大学院博士後期課程) 農業・食料経済学, 特別演習, 特別実験 など

6. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有し（着任時まで取得見込みも含む）、博士前期・後期課程の学生の指導に熱意を持って取り組めること。
- (2) 開発経済学に関する優れた研究実績を有すること。
- (3) 三重大学が推進する地域共創事業の評価や管理についての研究を、フィールドワークを取り入れた開発経済学的手法等によって遂行できること。
- (4) 地域資源を活用した地域コミュニティの開発・管理に関する研究が行えること。
- (5) 地域圏大学としての三重大学の目標を理解し、地場産業の育成につながる産学共同研究に積極的に取り組む意思があること。

三重大学では、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

※本学では、「三重大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」（令和4年12月27日）を行い、学内保育園や研究補助員配置など研究教育環境の整備やワーク・ライフ・バランス支援の取り組みを積極的に推進しています。詳しくは下記の URL をご参照ください。（<https://www.mie-u.ac.jp/danjo/wlb/>）

7. 応募書類（各1部を提出）

- (1) 履歴書（写真貼付）※本学指定の様式に限る。
- (2) 業績目録（原著論文、著書、総説、その他について、項目ごとに分けて発表時期の新しいものから順に並べ番号を付すこと）。自らの貢献度や実際に担当した部分について説明する文章（各200字程度）を添えること。
- (3) 上記業績目録に掛かる別刷（代表的なもの5編）
- (4) 研究費獲得実績、プロジェクト参加実績一覧

- (5) 教育実績一覧
- (6) 社会連携に関する実績一覧
- (7) 管理運営に関する実績一覧
- (8) これまでの教育研究活動に関する概要（1000 字程度）。業績目録（2）の原著論文の文献整理番号を引用のこと。
- (9) 着任後の教育研究活動に関する抱負（1000 字程度）。特に学部学生に対する開発経済学教育における自らの取り組みについて説明してください。
- (10) 応募者の連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレス）
- (11) 応募者についての照会先（2名：氏名、所属、役職、電話番号、電子メールアドレスなど）

8. 応募期間 令和6年4月15日（月）～令和6年8月30日（金）

9. 選考方法

書類審査を主としますが、選考の過程で面接を行います。
面接の場合の旅費は、自己負担となります。

10. 着任時期

令和7年1月以降のできるだけ早い時期

11. その他

給与は三重大学年俸制適用教員給与規程による年俸制とし、年俸額は採用候補者の経歴などを勘案して決定されます。

※本学では、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。なお、選考に際し、男女雇用機会均等法第8条（女性労働者に係る処置に関する特例）の規定により、業績（研究、教育、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。

12. 応募書類提出要領

電子データでの提出。応募希望の方には提出用 URL をお送りしますので、下記メールアドレスに8月28日（水）までにご連絡下さい。なお、メールの件名には「国際・地域資源学講座・公募書類提出用 URL 希望」と記載すること。

三重大学大学院生物資源学研究科 資源循環学専攻

専攻長 教授 中島 千晴

E-mail: chiharu@bio.mie-u.ac.jp

13. 問い合わせ先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 三重大学大学院生物資源学研究科

資源循環学専攻

専攻長 教授 中島 千晴

TEL : 059-232-1211 (三重大学代表)

E-mail: chiharu@bio.mie-u.ac.jp

14. 参考

国際・地域資源学講座教員一覧 (令和6年4月1日現在)

教育研究分野	教授	准教授	助教
生物資源経済学			
循環経営社会学	野中 章久*		本公募
資源経済システム学	常 清秀		
国際資源植物学	関谷 信人		
国際資源利用学		吉原 佑	

*大学院は地域イノベーション学研究科所属

生物資源学研究科のホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp>

資源循環学専攻のホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep01/>

以上